意見整理表まとめ（花巻駅前）

資料 2-1

	分類	メリット	デメリット	デメリットの解決策	補足説明
都市計画的視点	①活性化	●JR 花巻駅の改修と合わせて図書館を整備することで、街が発展している印象を与える ●飲食店などをはじめ、商業の発展につながる ●駅前に図書館があると街のシンボルになる ●観光客が気軽に立ち寄り情報収集できるので、観光客にも花巻をアピールできる ●多様な人との関わりや芝生でのイベントが可能である ●病院跡地に比べて学生の利用が期待できることから、学生時代に図書館を使っていた人たちが大人になっても使う可能性がある	●図書館が商業地域となじまないのではないか	●商業を身近に感じる企画展などを開催する ●商業地域になじむような明るい図書館を計画する【補足説明 1】 ●図書館の中に本屋を入れる【補足説明 2】	**【補足説明 1】** ・駅前は都市計画法上の「商業地域」に指定されている。商店以外のものを建てることはでき、商業地域に図書館を建てる事例も多い（別紙「駅前①」参照） **【補足説明 2】** ・本屋がない自治体等で民間の本屋を併設している例はあるが、図書館内に本屋を設けることについては、現時点での基本計画試案にそのような想定がないことから、設置について検討する場合には、広く市民に意見を聞く必要がある
	②文化・歴史	●宮沢賢治ゆかりの場所			
	③他施設との連携	●イベントの共催や施設の共有ができる。なはんプラザでのイベントの帰りに図書館に寄ることができる。なはんプラザでのイベントに関連する図書類を展示紹介することができる ●周辺民間施設との図書展示やイベント開催などによる事業連携の可能性がある			
	④周辺環境	●電車やバスの待ち時間を有効活用できる ●周辺に飲食店が多い ●西の山がキレイに見える ●駅前の歩道や多目的広場周辺は融雪設備があるため、冬場は歩きやすい	●駅から近いため、電車の騒音や振動問題が懸念される	●静かに本を読める部屋を設置する ●設計段階で必要な対策をする【補足説明 3】	**【補足説明 3】** ・花巻駅前案は、鉄道からの距離が釜石線まで約 15m、東北本線まで約 28m。これよりも線路に近い例の、福島県白河市図書館（東北本線から 22m）や那須塩原市図書館（東北新幹線から 8m）では騒音や振動に関するクレームはないとのこと。防音及び振動対策は設計段階で対応可能なことは建築士に確認済み。なお、新図書館は静かに読書できる部屋を設ける一方で、子どもが騒いでもいい部屋やおしゃべりをしてもいいスペースを設ける予定
			●建物が密集し狭く感じる。緑が少なく景観が悪い	●植栽・植樹をする ●天井を高くし、開放感のあるデザインとする ●屋上を公園にする ●屋外で読書ができるようにする(例えば、ハンモック等)	
			●花巻まつりや宵宮などのイベント時に混雑する ●観光客など人が多くなることで、マナー違反をする人が出てくる可能性がある	●混雑時は通行等の規制や警備員を配置する ●3 階建てにすることでスペースを確保する【補足説明 4】 ●イベント時は開館時間の調整等利用の制限や、返却期間の延長などをする ●病院跡地を多目的イベントスペースとし、駅前で開催しているイベントを行う【補足説明 5】	**【補足説明 4】** ・比較調査業務委託報告書においては、駅前の場合、3 階建てにする案も提示されている。市としては、図書館の東西幅を確保する観点から 3 階建てではなく 2 階建てとする案を市民会議に提出したところであるが、市民会議において、3 階建てが望ましいという意見が多い場合には、3 階建てを検討する余地がある

意見整理表まとめ（花巻駅前）

	分類	メリット	デメリット	デメリットの解決策	補足説明
都市計画的視点				●図書館利用者とその他の人で入口など動線を分ける	・３階建てにした場合 （１）２階建てに比べて東西の幅が狭くなるため、レイアウトを検討するにあたり制約が出てくる （２）病院跡地と同規模の芝生広場の整備が可能となる （３）多目的広場に設置されている融雪装置の改修経費約 6,000 万円が必要なくなる （４）からくり時計が駅から引き続き見えることになる （別紙「駅前②」参照） **【補足説明 5】** ・現在、駅前で開催している藤木神社の宵宮などを病院跡地において開催することについては、住民の理解を得ることは難しい。なお、駅前広場を芝生化した場合には、イベントを開催するにあたって芝生を傷めないように養生しながら開催することや、駐車場のフェンスを移動可能として、駐車場も含めたイベントの開催などの工夫ができるか検討する必要がある
建築計画的視点	⑤アクセス	●バスや電車などの公共交通機関が充実しているため、交通の便がいい ●駅前は場所がわかりやすい ●車がなくても行きやすく、高齢者や障がい者、学生にとって利便性が高い ●複数の小学校・中学校・高校に近く、児童生徒学生が利用しやすい ●公共交通機関と隣接しているので観光客も来やすい ●市外や県外など、他地域の方も利用しやすい ●道が広く使いやすいため、車の利用もしやすい	●駐車場入り口の道路が狭く感じる	●駐車場整備の際に入口の道路を使いやすいよう工夫する【補足説明 6】	**【補足説明 6】** ・駅前に整備する場合、駐車台数を確保するため、JR 東北本線に面する市道は廃止することとなる。そのことに伴い、駐車場に入る道については、なはんプラザを通りスポーツ用品店駐車場へ行く市道及び花巻駅南駐車場（第 2）の出口から東に行く市道は残る。JR 東北本線に面する市道を廃止することにより通り抜けができなくなるため、スポーツ用品店駐車場へ行く市道については、回転できるようロータリーの整備が必要（別紙「駅前③」参照）
			●公共交通機関を使わない人にとってはメリットがない		
	⑥安全	●交番が近くにあり、夜間でも明るいため安心できる	●図書館駐車場や駅のバス・タクシー乗り場などロータリーでの安全に関する懸念がある	●防犯カメラの設置や警備員を配置する ●駅ロータリーの歩行者安全対策をする	
			●犯罪等への懸念がある	●防犯カメラの設置や警備員を配置する ●防犯設備や不審者を館内に入れない規制をする ●イベント時は早めに閉館する	
	⑦防災	●災害時や電車が止まり帰宅困難になった場合などに、一時的な滞在場所として使うことができる			
	⑧土地	●近年新しく整備された図書館は駅周辺が多い傾向にある ●平面駐車場はイベント等で利用できる可能性がある	●総合花巻病院跡地と比べ用地が狭い ●総合花巻病院跡地と比べ芝生広場の面積が小さい	●芝生広場にベンチ等を設置し、面積が小さくても休憩できるようにする ●芝生広場を屋上に整備する ●３階建てにするなど、建て方を工夫する【補足説明 4】	
			●すでに市有地となっている病院跡地の利用についての懸念がある	●病院跡地は図書館以外に活用する(例えば、子どもの遊び場、賢治ゆかりの地とした観光施設、市営駐車場、公園、映画館等)	
			●現在の多目的広場は花巻まつりや宵宮、各種イベントに活用されているため、現状のままを望む意見がある	●イベントの実施方法や開催場所を変えるなど工夫する【補足説明 5】 ●イベント可能な広場をつくる【補足説明 7】 ●３階建てとし、広場スペースを確保する【補足説明 4】	**【補足説明 7】** ・イベント可能な広場をつくるには用地が必要

意見整理表まとめ（花巻駅前）

	分類	メリット	デメリット	デメリットの解決策	補足説明
建築計画的視点			●駅前のスポーツ用品店がなくなる	●他のスポーツ店を案内する ●図書館内でスポーツ用品を取り扱う	
			●駅舎入り口から見て、なはんプラザのからくり時計が図書館で遮られ見えなくなる	●図書館から見えるようにする ●図書館に設置場所を変更する	
	⑨駐車場	●平面駐車場はイベント等で利用できる可能性がある	●駅や他施設の利用者も駐車場を利用することから、混雑により図書館利用者の駐車が困難になる可能性がある ●違法駐車や無断駐車、図書館利用目的以外の利用が増える可能性がある ●駐車券をもらうのが手間	●駐車場の利用ルールを工夫する ●入場や発券など新しいシステムやデジタル技術を活用する ●周辺ホテル等の駐車場と連携する ●図書館利用者とその他利用者のスペースを区別する ●駐車場を増設する(例えば、民間駐車場の借り上げ、西口に駐車場を整備する等)【補足説明 8】	**【補足説明 8】** ・民間駐車場の借り上げや、西口への駐車場整備については、それに伴う費用がかかることになるが、土地の所有者との用地交渉が必要
	⑩費用		●総合花巻病院跡地に比べ概算事業費が高いため、市の実質負担額が約 1.2 億高くなる	●負担分の効果が得られる事業を検討する	
			●ボーリング調査後追加費用がかかる可能性がある【補足説明 9】		**【補足説明 9】** ・駅橋上化事業によりボーリング調査を行った結果によれば、駅前において地盤がしっかりとしていると予測されるが、図書館の整備にあたっては、建物設置予定場所で 3 カ所のボーリング調査を実施予定